

日汉对照世界名著丛书

简

愛

ジェイン・エア

夏・勃朗特 著



日汉对照世界名著丛书

简·爱

(下)

原 著 夏·勃朗特

日文翻译 远藤寿子

中文翻译 黄源深

编 校 刘树仁

吉 林 大 学 出 版 社

日汉对照世界名著丛书

简·爱

(上、下)

原著 夏·勃朗特 日文翻译 远藤寿子
中文翻译 黄源深 编 校 刘树仁

责任编辑、责任校对:张显吉 封面设计:张沐沉

吉林大学出版社出版 吉林大学出版社发行
(长春市东中华路37号) 吉林省劳动彩印厂印刷

开本:850×1168毫米 1/32 1998年6月第1版
印张:25.75 插页:2 1998年6月第1次印刷
字数:963千字 印数:1—6000册

ISBN 7-5601-2125-X/I·99 定价(上、下):34.00元

出版者的话

为了提高日语学习者的阅读能力和兴趣，加深对日本语言文化的理解，我们邀请了吉林大学部分日语专家和学者编写了日汉对照世界名著丛书（全译本）第一辑。

本辑所选世界名著，日文采用日本最著名版本（《雪国·伊豆舞女》为日文原作，《简爱》、《茶花女》、《少年维特的烦恼》为日文精典译作），中文采用译林出版社译本，均出自我国著名翻译家之手。因此，所选版本具有权威性。

丛书采用同面相对的日汉对照方式，即日文原文与相应的中文同面对应，这样便于读者参照阅读，在两种语言环境中体会世界名著的魅力。

丛书充分考虑到了日文和中文的不同阅读习惯，在版面安排上，日文纵排，中文横排；日文排在上，中文排在下，既相互对应，又独立成文。使用文字字体也均采用日文和中文的通用字体，印刷上色调略有差别。为了达到同面相对的目的，丛书每面的中文字距和行距略有调整，用两个空格代替分段回行。既保持了日文的完整性，又保持了中文的文学艺术性。

本辑的出版，得到了日本岩波书店、日本在华日语专家东海林健先生、吉林大学外语学院的部分专家以及江苏译林出版社竺祖慈先生等的支持和帮助，在此一并表示深深地谢意。同时，由于我们的水平和力量所限，不足之处在所难免，敬请读者不吝赐教。

吉林大学出版社

1998年5月



二二

ロチエスター氏は、たった一週間の暇を下さったのに、ゲーツヘッドを去らないうちに、一ヵ月たってしまった。葬儀がすみ次第出立したかったけれども、ジョージアナがロンドンへ出発するまで滞在してもらいたいという、たつての願ひであつた。亡妹の埋葬の指図や、家のあと始末のために、ロンドンから来ていた伯父のギブソン氏に招かれて、彼女は今度いよいよロンドンへ行くことになった。ジョージアナは、イライザと二人きりになるのは、おそろしいと言つた。彼女の銷沈した心に同情もしてくれず、いろいろの心配ごとの力にもなってくれず、また旅支度の手伝もしてくれないといふのであつた。そこで私は、彼女の気の弱い滅入りこんだ気持や、得手勝手な愁嘆を、できるだけ我慢して、彼女のために縫物をしたり衣類の荷づくりをしたりして、できる限りの手伝をした。私が働いているあいだ、彼女が何もしないで、怠けているのは實際のことであつた。私は心に思つた。「もしもあなたとわたしと一緒に暮す運命にあつたら、従姉よ、わたしたちは各々の立場で仕事を始めたでしよう。わたしがご無理ごもっともで、おとなしくあなたの言うことをきいて暮す相手にはなつていないでしよう。あなたにも仕事をあてがい、あくまでそれを、あなたにやり遂げさせるか、さまなければ、しないでそのままに放つときます。また、あなたののろくさい口調の、あのいい加減な不平を、あなた一人の胸にしまわせておきます。わたしの方で辛抱よく、不平もいわずに、こうして言うことをきいてあげるのは、偶然わ

二十二

罗切斯特先生只准许我缺席一周,但我还没有离开盖茨黑德,一个月就已经过去了。我希望葬礼后立即动身,乔治亚娜却恳求我一直呆到她去伦敦,因为来这里张罗姐姐的葬礼和解决家庭事务的吉卜森舅舅,终于邀请她上那儿了。乔治亚娜害怕同伊丽莎单独相处,说是情绪低沉时得不到她的同情;胆怯时得不到她的支持;收拾行装时得不到她的帮助。所以乔治亚娜软弱无能、畏首畏尾、自私自利、怨天尤人,我都尽量忍受,并力尽所能替她做针线活,收拾衣装。确实,我忙着她会闲着不干事。我暗自思忖道:“要是你我注定要一直共同生活,表姐,我们要重新处事,与以往全然不同。我不该乖乖地成为忍受的一方,而该把你的一份活儿分派给你,迫使你去完成,要不然就让它留着不做。我还该坚持让你那条斯理、半真半假的诉苦咽到你肚子里去。正是因为我们之间的关系十分短暂,



たしたちの關係が、ほんの短いあいだであるのと、特別な悲しい場合だからですよ」

やっと私はジョージアナの出発を見送った。すると今度は、イライザがもう一週間私に滞在してもらいたいと言った。いま彼女の計画していることは、彼女の時間と心遣いの全部を必要とするのだからと言うのであった。彼女はある未知の土地をめざして出発しようとしていた。彼女は終日自分の部屋に閉じこもって、入口に錠をおろし、トランクに物をつめたり、引出しを空にしたり、書いたものを焼いたりして、誰とも没交渉であった。イライザは私に、家の世話と、訪問者に会うことと、弔詞の手紙に返事を書くことなどをしてもらいたいと言った。

ある朝、彼女は私に、もう自由になすって下さいと言った。そしてこう言い加えた。「ほんとによくやって下さるし、行きとどいたなさり方を、わたしはとても感謝しますわ！ あなたのような方と暮すのとジョージアナと暮すのでは、ちがったものを感じます。あなたは引き受けて下さった事は、きびきびやって下さって他人を煩わしませんもの。明日は」と彼女はあとをつづけた。「わたし、欧州大陸へ出発いたします。リールの近くのある修道院へ——あなた方は尼寺と呼ぶでしょうが——、はいつて暮しますのよ。あそこなら、静かに、誰からも妨げられずに暮せるでしょう。当分は、キャソリックの教義を検討し、教義の組織がどういうように運用されているか、その研究に専心します。私がはば考えているような、万事をきちんと規則正しくしていくのに、いちばん適しそうなものだということが解ったら、私はローマン・キャソリックの教義を奉じて、尼になるでしょう」

私はこの決心を聞いても、別に驚いた顔も見せなかったし、彼女を思いとどませようともし

偏又遇上特殊的凭吊期间,所以我才甘愿忍耐和屈从。” 我终于送别了乔治亚娜,可是现在却轮到了伊丽莎要求我再呆一周了。她说她的计划需要她全力以赴,因为就要动身去某个未知的目的地了。她成天关了门呆在房间里,装箱子,理抽屉,烧文件,同谁都不来往。她希望我替她看管房子,接待来客,回复唁函。一天早晨她告诉我没有我的事了。“而且,”她补充道,“我感激你宝贵的帮助和周到的办事。跟你共处和跟乔治亚娜共处,有所不同。你在生活中尽自己的责任,而不成成为别人的负担。明天,”她继续说,“我要动身去大陆。我会在里斯尔附近一家寺院找到栖身之所——你会称它为修道院。在那里我会安静度日,不受干扰。我会暂时致力于考察罗马天主教信条,和细心研究它体制的运转。我虽然半信半疑,但要是发现它最适宜于使一切事情办得公平合理,井井有条,那我会皈依罗马教,很可能还会去当修女。” 我既没有对她的决定表示惊奇,也没有劝说她打消这个念头。



簡・愛 第二十二章

なかった。

「その天職こそ、あなたにじっくり合っています」と私は心に思った。「それが、あなたにおしあわせになるように！」

私たちが別れるとき、彼女は言った。「さようなら、従妹のジェイン・エア、あなたは、わがりのいい方だわ」

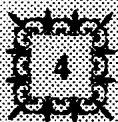
私はその時答えた。「あなたも、わからない方じゃありませんわ。従姉のイライザ、でも、あなたの持っていらっしゃるものは、もう一年もしたら、フランスの尼寺の中に生き埋めにされますわね。でも、わたしのとやかく言うことじゃありませんし、あなたに満足なことですから——たいていはわたしは気にしませんわ」

「おっしゃるとおりだわ」と彼女は言った。こういうことを言って、互いに別々の道へ向った。私はイライザのことについても、ジョージアナのことについても、今後言及する機会がないと思うので、今ここに、ジョージアナは金持の道衆にも倦いた上流社会の人と結婚したこと、イライザは、ほんとうに尼になり、今は、彼女が修道尼の見習期間を過ぎた修道院の院長となり、彼女の財産を寄付したことを書き記したほうがよいと思う。

長い短いを問わず、不在にしていた家へもどる時、みんなはどのような気持を感じるものか私は知らない。私はそのような気持を一度も経験したことがなかった。幼い頃、長い散歩のあとで、ゲーツヘッドの邸へもどる時どんなものかは知っていた——寒そうに見えるとか、陰気な顔をしているとか言って叱られにもどるのであった。のちになって、教会からローウッドへ帰るのは、

“这一行对你再适合不过了，”我想，“但愿对你大有好处！”我们分手时她说：“再见，简·爱表妹，祝你走运，你还是有些见识的。”我随后回答道：“你也不是没有见识，伊丽莎表姐。但再过一年，我想你的禀赋会被活活地囚禁在法国修道院的围墙之内。不过这不是我的事儿，反正对你适合——我并不太在乎。”“你说得很对，”她说。我们彼此说了这几句话后，便分道扬镳了。由于我没有机会再提起她或她妹妹了，我不妨在这儿说一下，乔治亚娜在婚事上得以高攀，嫁给了上流社会一个年老力衰的有钱男子。伊丽莎果真做了修女，度过了一段见习期后，现在做了修道院院长，并把全部财产赠给了修道院。

无论是短期还是长期外出回家的人是什么滋味，我并不知道，因为我从来没有这种感受。但我知道，小时候走了很远的路后回到盖茨黑德府，因为显得怕冷或情绪低沉而挨骂是什么滋味。后来，我也知道，从教堂里回到罗沃德，



どんなものか知っていた——たっぷりした食物と暖い火を欲しがることで、しかも両方とも叶えられないのであった。こんな戻りかたは、ちっとも楽しくないし、好ましいものでもなかった。どんな磁石も、行くべきところへ近づくにつれて、引力をましてわが家という一定の場所へ私を引き寄せることはなかった。ソーンフィールドへ帰るのは、どんなものかこれから経験することであった。

旅は倦き倦きする——非常に倦き倦きする思いがした。一日五十マイル、旅館に一泊して、翌日また五十マイルの旅であった。最初の日、十二時間のあいだ、私は臨終のリード夫人のことを考えた。醜くなった、顔の色の変わった彼女を心の中で眺め、奇妙に変わった彼女の声音を聞いた。葬儀の日、柩、棺車、小作人、奉公人などの喪服の列——親戚の人は、ほとんどなかった——亡骸を入れるため、口を開けて待っている床下の埋葬所、静粛な教会、おごそかな祈禱などを回想した。それからイライザとジョージアナのことを思った。舞踏会で衆目の的となっていたひとと、尼院の修道女となっているひととを心に眺めた。そして、この二人の容姿や性格のちがった特徴を考え、それを分析してみた。こんな追想は、夕方、×州の大都会に着いた時、追い払われてしまい、夜は私の思いを全然べつなものに変えさせた。旅の寢床に横たわると、私は追想をすて、これから先きのことに思いをめぐらした。

私はソーンフィールドへ帰るところであったが、いつまでそこに、いられるだろうか？ 長いことはない。それは、確かだ。フェアファックスさんからの手紙には、私が不在にしているあいだに、ソーンフィールド荘のお客さまたちは出発したことや、ロチェスター氏が三週間前にロンド

渴望一顿丰盛的饭菜和熊熊的炉火，结果却两者都落空时，又是什么滋味。那几次归途并不愉快，也不令人向往，因为没有一种磁力吸引我奔向目标，不是离得越近越具有诱人的力量。这次返回桑菲尔德是什么滋味，还有待于体味。旅途似乎有些乏味——很乏味。白天走五十英里，晚上投宿于旅店。第二天又走五十英里。最初十二小时，我想起了里德太太临终的时刻。我看见了 她变了形相、没有血色的脸，听见了她出奇地走了样的声调。我默默地忆起了出丧的日子，还有棺材、灵车、黑黑的一队佃户和佣人——亲戚参加的不多——张开的墓穴、寂静的教堂、庄严的仪式。随后我想起了伊丽莎和乔治亚娜。我看见一个是舞场中的皇后，另一个是修道院陋室的居士。我继续思索着，分析了她们各自的个性和品格。傍晚时抵达某个大城镇，驱散了这些想法。夜间，我的思绪转了向。我躺在这远游者的床榻上，撇开回忆，开始了对未来的向往。我正在回桑菲尔德的归途中。可是我会在那儿呆多久呢？我确信不会太久。在外期间，费尔法克斯太太写信告诉我，府上的聚会已经散去，罗切斯特先生三周前动身去了伦敦，



第 二 十 二 章

ンへ出立され、二週間以内にもどられる予定であつたとあつた。フェアファックスさんは、ロチェスターさまが新しい馬車をお買い求めになると言われておられた故、たぶん、結婚式の準備のために行かれたのだらうと思う。旦那さまがイングラムさまと結婚なさるというお考は、自分には未だに妙な氣がするけれども、人の噂から考えても、また、自分の見たことから考えても、お式が近いうちに挙げられることは、もはや疑う余地がないと書いてよこしている。「かりに、それを、あなたが疑うなら、あなたは妙に疑い深い方ですよ」と私は心の中で批評した。「わたしは疑ひはしませんよ」

質問があとにつづいた。「わたしはどこへ行くべきか」私は一晩中、イングラム嬢の夢を見た。晩方のはつきりした夢に、彼女が私に向つてソーンフィールド莊の門扉を開けてしまい、別の道を指さしていた。そしてロチェスター氏が腕ぐみしながら——いかにも皮肉らしい微笑を浮かべながら、彼女と私を眺めていた。

私はフェアファックスさんに、帰りののはつきりした目を知らせていなかった。私を迎えにミルコートまで、輪馬車を、さし向けられるのがいやだったからである。私は旅館の馬丁に荷物の世話を頼んでから、独りしずかにソーンフィールドまでの道のりを歩いて行くつもりで、六月の夕べ六時頃、こつそりジョージ旅館を脱け出て、ソーンフィールドさしてもと来た道を行つた。一筋の道は、おもに畑地を貫ぬき、今はほとんど人通りがなかった。

晴れて、なごやかな夕べであつたけれども、輝しいとか、赫々としたとかいふ夏の夕ぐれではなかった。その道に沿つて、乾草づくりの人々は乾草畑で働いていた。空は、雲一つないと言

不过预定二周后就返回。费尔法克斯太太推测，他此去是为张罗婚礼的，因为曾说起要购置一辆新马车。她还说，总觉得这不免有些蹊跷，罗切斯特先生尽想着要娶英格拉姆小姐。不过从大家说的和她亲眼见的来看，她不再怀疑婚礼很快就会举行。“要是连这也怀疑，那你真是疑心病重得出奇了。”我心里嘀咕着。“我并不怀疑。”接踵而来的是这个问题，“我上哪儿去呢？”我彻夜梦见英格拉姆小姐，在活灵活现的晨梦中，我看见她当着我关上了桑菲尔德的大门，给我指了指另外一条路。罗切斯特先生袖手旁观——似乎对英格拉姆小姐和我冷笑着。我没有通知费尔法克斯太太回家的确切日子，因为我不希望派普通马车或是高级马车到米尔科特来接我。我打算自己静静地走完这段路。这样，六月的某个黄昏，六时左右，我把自己的箱子交给了饲马馆后，静悄悄地溜出乔治旅店，踏上了通向桑菲尔德的老路，这条路直穿田野，如今已很少有人光顾。这是一个晴朗温和却并不明亮灿烂的夏夜，干草工们沿路忙碌着。天空虽然有云，



日汉对照 简·爱

いがたいが、明日の天気を大丈夫保証するような空であった。空の青い色は——少くも青く見えるところは——おだやかに落ちついた色で、雲の層は高く、薄かった。西の空も暖く見えた。水のような薄い光が空を冷たく見せるのでなくて、あたかも大理石のような雲の帷の陰に、聖壇の火が燃えているかのように輝き、雲の切目から金色をおびた赤光を放っていた。

目の前の道が、だんだん短くなるのが、私はうれしかった——あんまり嬉しいので、この喜びは、どういうのだらうと、一度歩みを止めて我と我が心に問い、そして、今帰ろうとしているのは、我が家でなく、永遠の休息所でもなく、また、なつかしい友だちが、そとを眺めて私の到着を、待ちわびているところでもないことを、理性に注意を促そうとした。「きっと、フェアファックスさんは、にこにこして、おだやかにお前を迎えて下さる」と私は心に言った。「アデールは、お前を見て手をたたきながら、跳んでくるだらう。しかしお前は、その人たちよりも、べつな人のことを思っているのを自分でもよく解っている。その人は、お前のことを思っていないこともよく解っている」

しかし、若さほど、こうも押しの強いものがあるだらうか？ 無経験ほど先きの見えない盲目があるだらうか？ この二つが、ロチェスター氏がお前を見ようが見まいが、お前があの方をふたたび見ることができものが嬉しいのだと言いつつ。そして「急げ！急げ！」と更に言った。「いられるだけ、あの方と一緒にいるがよい。四、五日以上か、長くて、せいぜい二、三週間の間だが。それが過ぎると、永久にあの方とお別れだ！」それから私は、生れたばかりの苦惱を——自分のものとして、育てる気になれない不具の子を——絞め殺した——それから、走りつづけた。

却仍有好天气的兆头。天上的蓝色——在看得见蓝色的地方——柔和而稳定，云层又高又薄。西边也很暖和，没有湿润的微光来造就凉意——看上去仿佛点起了火，好似一个祭坛在大理石般雾气的屏障后面燃烧着，从缝隙中射出金色的红光。

面前的路越走越短，我心里非常高兴，高兴得有一次竟停下脚步问自己，这种喜悦的含义何在，并提醒理智，我不是回到自己家里，或是去一个永久的安身之处，我是到一个亲密的朋友们翘首以待、等候我到达的地方。“可以肯定，费尔法克斯太太会平静地笑笑，表示欢迎，”我说，“而小阿黛勒会拍手叫好，一见我就跳起来，不过你心里很明白，你想的不是她们，而是另外一个人，而这个人却并不再想你。”但是，有什么比青春更任性吗？有什么比幼稚更盲目呢？青春与幼稚认定，有幸能再次见到罗切斯特先生是够令人愉快的，不管他见不见我，并且补充说：“快些！快些！在还能做到的时候跟他在一起，只要再过几天，至多几星期，你就与他永别了！”随后我抑制住了新的痛苦——我无法说服自己承认和培育的畸形儿——并继续赶路了。



ソーンフィールドの草地でも乾草をつくっていた。というよりも、私が行きついた頃には、農夫たちは仕事をおえて、彼等の肩に熊手をかついで家に帰ろうとするところであつた。私は、二つか三つの野を越えさえすれば、道を横切つて邸の門に着くのだ。まあ、生垣になんと、たくさいのバラの花が咲いているだろう！でも、一つも私は摘みとる暇がなかった——家へ早く着きたい。葉の生い茂つた、花ざかりの枝を路の方へ突き出している丈の高い野バラの傍を通りすぎた。石の段の狭い階段が見えた。私はロチェスター氏が手帖と鉛筆を手にして、そこに腰をおろしているのを見た。彼は何か書いている。

とにかく、幽霊ではない。それなのに、私の張りつめていた気持はゆるんでしまった。彼を見た瞬間、自制の力が無くなつてしまった。これはどうしたことだろう？彼に会つたら、こんな風に震えたり——彼のいる前で、声も出ないで、動く力もなくなるとは、思いもよらなかった。走れるだけ早く、家へもどうろう。自分から大馬鹿ものになるには及ばない。家へ行く別な道を知っている。けれども、私はたとえ二十の路を知つていて、なんの用もなさない。彼は私を見てしまったからである。

「やあ！」と彼は叫んで、手帖と鉛筆をしまった。「帰ってきましたね！さあ、いらっしやい」

私は傍へ行くだろうと思つた、どんな風にしかは自分で解らないけれども。私は自分がどんな動作をしていたか、ほとんど知らなかった。ただ平静に見えるようにと、そればかりを願つた。そして何よりもまず、顔の筋肉の動くのをしずめたかつたのに、それは生意気にも私の意志にさ

在桑菲尔德的草地上，他们也在晒制干草呢，或者更确切些，我到达的时刻，农夫们正好下工，肩上扛着草耙回家去。我只要再走过一两块草地，就可以穿过大路，到达门口了。篱笆上长了那么多蔷薇花！但我已顾不上去采摘，巴不得立即赶到府上。我经过一棵高大蔷薇，叶茂花盛的枝桠横穿过小径。我看到了窄小的石头台阶，我还看到——罗切斯特先生坐在那里，手中拿着一本书和一支铅笔，他在写着。是呀，他不是鬼，但我的每一根神经都紧张起来。一时我无法自制。那是什么意思？我未曾想到一见他就这么颤抖起来——或者在他面前目瞪口呆，或者动弹不得。一旦我能够动弹，我一定要折回去，因为没有必要让自己变成个大傻瓜，我知道通往府上的另一条路。但是即使我认得二十条路也没有用了，因为他已经看到了我。“你好！”他叫道，丢开了书和铅笔。“你来啦！请过来。”我猜想我确实往前走了，尽管不知道怎么走过去的。我几乎没有意识到自己的行动，而一味惦记着要显得镇定，尤其要控制活动的面部神经——而它却公然违抗我的意志，挣扎着要把我决心掩饰的东西表露出来。



日汉对照 简·爱

からって、隠そうと決心した感情を表わそうとかかっているのだ。けれども私は帽子に面纱をつけていた——それはおりていた。なんとか取り乱さないで平静に振舞うことができるだろう。

「これが、ジェイン・エア？ ミルコートから来たの、歩いて？ なるほど——例のあなたらしい悲劇の一つだ。馬車を迎えに出せとも言わず、普通の人がするるように、街や田舎道を馬車でガラガラ帰ってこないで、まるで夢か影のように、夕闇にまぎれて、あなたの家のまわりへ忍びこむのだね。一体あなたは、この一ヶ月のあいだ、何をしていたのです？」

「伯母の許におりました、伯母は死にました」

「ほんとうのジェインらしい答だ！ ああ恐ろしい、天使たちよ、守り給え！ この人は、あの世から来ました——亡者の国から来ました。このたそがれに、たった一人でわたしに会って、そう言ったのです！ あなたが、真実の人間か、幽霊か、わたしに勇気があったら触って見たいのだが、このいたずらっ子！——だが、いっそ沼地の青い鬼火をつかまえたほうが、まだだね。なまけ者が！ なまけ者が！」ちよつと言葉を切っていたが、彼は言い足した。「まる一ヶ月のあいだ、わたしから離れていて、すっかりわたしを忘れていたんだ！」

ふたたび彼に会ったら、どんなに嬉しいだろうとは、解っていた。たとえ彼が、もうじきに私の主人でなくなるという不安や、私が彼にとって何者でもないという自覚のために心は打ちひしがれていたのだが。けれども、ロチェスター氏にはいつも変わらず（少なくとも、私にはそう思われた）、私のような道にさまよう旅の鳥には、彼がまき散らしたパン屑を味わうことさえ、楽しいご馳走であったほど、それほど豊かに幸福を与える力があつた。彼の最後の言葉が、私の心の慰め

但我戴着面纱——这时已经拿下。我可以尽力做出镇定自若的样子。

“这可是简·爱？你从米尔科特来，而且是走来的？是呀——又是你的一个鬼点子，不叫一辆马车，像一个普通人一样咋咋呼呼穿过街道和大路，偏要在黄昏薄暮，偷偷来到你家附近，仿佛你是一个梦，是一个影子。真见鬼，上个月你干了些什么？” “我与我舅妈在一起，先生，她去世了。” “道地的简·爱式的回答！但愿善良的天使保护我吧！她是从另一个世界来的——从死人的住所来的，而且在黄昏碰见我一个人的时候这么告诉我。要是我有胆量，我会碰碰你，看你是实实在在的人，还是一个影子。你这精灵呀！——可是我甘愿去沼泽地里捕捉蓝色的鬼火。逃兵！逃兵！”他停了片刻后又补充说：“离开我整整一个月，已经把我忘得一干二净，我敢担保！” 我知道，与主人重逢是一件乐事，尽管备受干扰，因为我担心他快要不再是我的主人，而且我也明白我对他无足轻重了。不过在罗切斯特先生身上（至少我认为）永远有着一一种使人感染上愉快的巨大力量，只要尝一尝他撒给我这样离群孤鸟的面包屑，就无异于饱餐一顿盛宴。他最后的几句话抚慰了我，



です。言い換えれば、あなたのその厳しいお顔は、美しさにまざる魅力を持っているのです」

ロチェスター氏は、私が口に出さない心の中の考を、私に理解のできない炯眼で、時々読みとることがあった。今の場合は、私がだしぬけに言った答に、彼は氣をとめないで、彼独特のある種の微笑を浮べて私の顔を見ていた。これは、ごく稀にしか表わさない微笑である。のべつ用いるのは、勿体ないと思っている風に思われた。その笑顔は、やさしい感情のこもった真の太陽の——彼はいま、その光を私に放射したのである。

「ジャネット、お通り」階段を通る余地を私にゆずって、彼は言った。「家へお帰りなさい、そして、歩きつかれたその小さい足を、友だちの家で休めなさい」

この時私にできる事は、何も言わないで、彼の言うなりになることであつた。それ以上口に出す必要はなかつた。私は何も言わずに階段にのぼつた。そして平静に彼の傍をはなれるつもりであつた。衝動が私をしつかりと押えつけた——力づよいものが、私を振り返らせた。私は言つた——いえ、私の内部のあるものが、私に代つて、思わず言つた——「ご親切に、ロチェスターさま、ありがとうございます。また、あなたさまのところに戻りまして、わたくし、ふしぎなほど嬉しゅうございますわ。あなたさまのいらっしゃる所は、どこでもわたくしの家でございます——わたくしの唯一の家でございますわ」

かりに彼が私に追いつこうとしても、とても追いつけないほど、私は大急ぎで歩いた。アデルは私を見て、半狂乱になって嬉しがつた。フェアファックスさんは、いつもの率直な優しさで迎えた。リアは、にこにこしたし、ソフィさえも嬉しがつて、今晚は、を言つた。これは非常に

或者不如说，你严厉的神情具有一种超越美的力量。” 罗切斯特先生有时有一种我所无法理解的敏锐，能看透我没有表露的思想，眼下他没有理会我唐突的口头回答，却以他特有而少见的笑容，朝我笑笑。他似乎认为这种笑容太美妙，犯不着用于一般的目的。这确实是情感的阳光——此刻他将它撒遍我周身。“走过去吧，珍妮特，”他说着空出地方来让我跨过台阶。“回家去，在朋友的门楣里，歇歇你那双奔波不定、疲倦了的小脚吧。” 现在我该做的不过是默默地听从他罢了，没有必要再作口头交谈。我二话没说跨过石阶，打算平静地离开他。但是一种冲动攫住了我——一种力量使我回过头来。我说——或是内心的某种东西不由自主地替我说了：“罗切斯特先生，谢谢你的关怀。回到你身边，我感到出奇地高兴，你在哪儿，哪儿就是我的家——我唯一的家。” 我走得那么快，甚至就是他要追赶也追赶不上。小阿黛勒一见我乐得差点儿疯了，费尔法克斯太太照例以一种朴实的友情接待了我。莉娅朝我笑笑，甚至连索菲娅也愉快地对我说了声“晚上好”



嬉しかった。自分が仲間の人たちに愛されて、自分のいることが、彼らの楽しみを増していると感ずるほど幸福なものはない。

その晩、私は前途のことを思うまいと、かたく目を閉じた。間近に迫っている別離と近づいてくる深い悲しみを、絶えず警告する心の声に耳をふさいだ。お茶が済んだ時、フェアファックスさんは編物を取りあげていたし、私は彼女のかたわらの低い椅子に腰かけ、アデルは絨毯の上に坐って、私にびったり寄り添っていた。お互いの愛情が平和の金環のように私たちを取り巻くような感じがした。この時私は、私たちは遠いところへ、そしてすぐに別れ別れにならないようにと、心の中で祈りを唱えていた。しかしその時、私たちがそうしていると、ロチェスター氏がななち前ぶれもなくはいって来た。彼は私たちを眺めて、この和氣藹々とした閉鎖の光景を喜んでいるように見えた。彼は、フェアファックスさんは、貰い娘が帰ってきたからには、もう安心だねと言った。そして、アデルが可愛いイギリスのお母さんを食べそうにしているのを見たよと言いつつ足した。その時私は、彼が結婚した後も、私たちと一緒にどこか彼の庇護のもとにおいて、太陽の光のような彼のそばから遠くへ追いつてくれなければよいと、そんな氣持になりそうになった。

私のソーンフィールド荘へ帰ってから、胸に落ちない、静かな二週間がつづいた。主人の結婚については何も話が出なかったし、そうした場合には準備も見なかった。私は、ほとんど毎日フェアファックスさんに、何かはつきりした事を聞かなかったかどうかをたずねた。彼女の答は、いつも否定であった。

我感到非常愉快。你为自己的同类所爱，并感觉到自己的存在为他们增添了快慰时，你的幸福是无与伦比的。那天晚上，我紧闭双眼，无视将来；我塞住耳朵，不去听“离别在即，忧伤将临”的频频警告。茶点过后，费尔法克斯太太开始了编织，我在她旁边找了个低矮的座位，阿黛勒跪在地毯上，紧偎着我。亲密无间的气氛，像一个宁静的金色圆圈围着我们。我默默地祈祷着，愿我们彼此不要分离得太远，也不要太早。但是，当我们如此坐着，罗切斯特先生不宣而至，打量着我们，似乎对一伙人如此融洽的景象感到愉快时——当他说，既然老太太又弄回自己的养女，想必她已安心，并补充说他看到阿黛勒是“真恨不得把她的英国小妈妈一口吞了下去”时——我近乎冒险地希望，即使在结婚以后，他也会把我们一起安置在某个地方，得到他的庇护，而不是远离他所辐射出的阳光。我回到桑菲尔德府后的两周，是在令人生疑的平静中度过的。主人的婚事没有再提起，我也没有看到为这件大事在做准备。我几乎天天问费尔法克斯太太，是否听说已经做出了决定。她总是给予否定的回答。



是當時、フルアツックスさんの言われるには、彼女は主人に向って、いつ、花嫁さまをお家にお連れなさるかということ、日にだしてはっきり訊いたけれども、主人はただじょうたんを言ったり、例の変な顔付をして見せるだけであつた。だから彼女は、ロチエスター氏のことをどう考へてよいかわからないと言つてゐる。

特に私に意外なことが一つあつた。それは、イングラム嬢の許へ出かけていたり帰ったりするとな、一回イングラムの舞園を訪問したことがある、もちろん、そこは、二十マイルの隣りの州境にあつた。だが、熱烈な恋人にとつて、二十マイルがなんであらう？ ロチエスター氏のそんな戒めを知らぬ熟練家の騎手にとつては、そのぐらいの距離は午前の一乗りにすぎないであらう。私は、結婚が中止になり、噂がまちがひであつて、どちらか一方が、それと反対で、心變りをしたのではないかと、いさぐ権利のない望みをいだきはじめてゐた。私は主人の顔を、悲しみをおびていないか、こわい顔をしていないかと眺めることを怠らなかつたが、その間に、毎日おなじに曇つた顔もせず、いさな感情をあらわしもしないのは、私の記憶にはあつたことであつた。

私も私の教員が、彼のそばにゐるとき、私が元氣を失つて、どうしようもない暗い沈んだ氣持になつても、かゝつて彼は、陽気にさへなるのであつた。この頃のように、しじゅう私をそばに町ぶことは、なかつた。そんなとき、これほど私にやさしいことは、今までになかつた！ そして、おお、私なつて、こんなに心の底から彼を愛したことは、今までになかつた。

有一回她说，她事实上已经问过罗切斯特先生，什么时候把新娘接回家来，但他只开了个玩笑，作了个鬼脸，便算是回答了。她猜不透他的心思。有一件事更让人感到奇怪，他没有来回奔波，造访英格拉姆小姐。说实在的，那地方位于本郡与另一个郡的交界之处，相隔仅二十英里，这点距离对一个热恋中的情人来说算得了什么？对于罗切斯特先生这样一位熟练而不知疲倦的骑手，那不过是一个上午的工夫。我开始萌生不该有的希望：婚事告吹，谣言不确，一方或双方都改变了主意。我常常观察主人的脸，看看是不是有伤心或恼恨之情，但是在我的记忆中，他的面部从来没有像现在这样毫无愁容或怒色。在我与我的学生同他相处的时刻，要是我无精打采，并难免情绪消沉，他反倒乐不可支了。我从来没有像现在这么频繁地被他叫到跟前，到了那里他又待我这么亲切——而且，哎呀！我也从来没有如此爱他过。



二三

輝かしい真夏は英國中を照らした。晴れた空や林梢とした太陽は——そのうちから——さへ、海にかこまれた我を英國は、めったに思まれないが、その頃は毎日よくつづいてくるで、それは、イタリヤの毎日が、さならんとした一群れの渡り鳥のように南からやって来て、アルピネ（（英國の西部の名称））の断崖に翼をやすめるために、とま、たかのようであつた。乾草はまじりかゝりとりられ、ソーラソーラード、帯の野原は、緑色に照りがやき、道路は白く、熱が固くなつていた。樹々は濃緑のまかりで、葉の茂つた濃い緑の生垣と森は、その間に介在している、まじりかゝりとりられた草地のきらきらした色と、好い対照をなしていた。

真夏の夕べ、半日を——の小径で野莓づみをして疲れたアデールは、太陽とともに寢床にはいつた。私は彼女の眠りつづのを見守つていた。それから彼女のそばを離れて庭園へ出た。

二十四時間のうちで、いちばん気持ちよいのは、今この時刻であつた。真昼は盛んな火を燃やしつつも——そして露は、起きに喘いでいる野と、焼けた山の頂に冷たくおりてきた。すでに太陽が質素な姿で——はでやかな雲の飾りもなく——おりて行つたあたりには、紅い寶石の光と如の焰のかがやきがある。点、すなわち山の峯の一つを燃やして、崇厳な赤味をおびた、紫色が眩び高く、広く、淡く、ますます淡く、天空のなかばを蔽うまでに拡がった。東の空は、独特の晴れやかな濃い青色の魅力を示し、そのつつましい寶石——のほてくるた——の星があらわれた。やがてそこは、月を誇るであらうが、月はまだ地平線からあらわれなかつた。

二十三

仲夏明媚的阳光普照英格兰。当时那种一连几天日丽天清的气候，甚至一天半天都难得惠顾我们这个波浪环绕的岛国。仿佛持续的意大利天气从南方飘移过来，像一群灿烂的候鸟，落在英格兰的悬崖上歇脚。干草已经收好，桑菲尔德周围的田野已经收割干净，显出一片新绿。道路晒得白煞煞仿佛烤过似的，林木葱郁，十分茂盛。树篱与林子都叶密色浓，与它们之间收割过的草地的太阳色，形成了鲜明的对比。施洗约翰节前夕，阿黛勒在海村小路上采了半天的野草莓，累坏了，太阳一落山就上床睡觉。我看着她入睡后，便离开她向花园走去。此刻是二十四小时中最甜蜜的时刻——“白昼已耗尽了它的烈火，”清凉的露水落在喘息的平原和烤灼过的山顶上。在夕阳朴实地西沉——并不伴有华丽的云彩——的地方，铺展开了一抹庄严的紫色，在山峰的一个尖顶上燃烧着红宝石和炉火般的光焰，向高处和远处伸延，显得越来越柔和，占据了半个天空。东方也自有它湛蓝悦目的魅力，有它不事炫耀的宝石——一颗升起的孤星。它很快会以月亮而自豪，不过这时月亮还在地平线之下。